

日本を拠点に働くメルコリゾートの役員が慶應義塾大学で研修を受ける

一流大学との連携により日本・日本人に対する理解を深める取組みを強化

[2019年9月24日火曜日 マカオ発]

メルコリゾート&エンターテインメント・リミテッド（以下、メルコリゾート）は、事業を展開する地域の歴史や文化、伝統を重んじ、敬意を抱いております。日本は、メルコリゾートの事業開発戦略における重要拠点であり、日本の作法や制度に対する理解を深めることは最重要事項であります。メルコリゾートは、優秀で革新的な人材の輩出に定評のある、日本を代表する教育機関の1つである慶應義塾大学と協力し、日本の仲間や日本との業務に密接に従事する人たちを対象として、日本に関する知識を深められるよう、研修を実施しました。このセミナーは9月14日に東京で開催され、20人を超える役員が出席しました。セミナーで取り上げられたテーマは、日本の経済史、現在のインバウンドビジネスの動向やそれに付随する議題、持続可能なビジネス戦略などです。慶應義塾大学と連携して開催したセミナーは、メルコリゾートの日本や日本人に対する理解を深める取組みの強化を示すものです。

メルコリゾート&エンターテインメントのローレンス・ホー会長兼最高経営責任者は、次のように述べています。「慶應義塾大学は、長い歴史を持ち、国際的にも評価の高い日本の教育機関です。日本における当社の事業戦略を構築する上で、事業を展開する地域の状況を理解することは極めて有益なことです。慶應義塾大学が当社の役員のために準備して下さった包括的な内容の研修講座を受けられたことに対して非常に光栄に思います。当講座によって、日本の豊かな歴史や文化に対する当社従業員の理解が深まることで、将来的に建設される予定の統合型リゾートにおいて、日本独自の雰囲気を取り入れ、海外からのお客様に日本の素晴らしさを伝えることができるようになるかと信じています。」

慶應義塾大学経済学部の池田幸弘教授は、あくまで個人的な見解としながらも、次のように述べております。「メルコのような国際的企業が日本の文化、遺産、経済を深く理解しているのは素晴らしいことです。日本への国際的な投資は経済に前向きなモメンタムを与え、現地企業との新たな相乗効果を生み出し、国内経済に新たな雇用機会を創出します。メルコの日本に対する継続的な関与と、国際的な観光地として我が国の発展のための長期的なパートナーになっていくことを期待したいと思います。」



開催したセミナーの様子

###

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】
メルコリゾート&エンターテインメントジャパン広報事務局（電通 PR 内）
菊地（TEL：03-6263-9090）
<https://www.melco-resorts.jp/>